

西区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体					
美しいまちづくり事業		西区自治連合協議会					
事業目的	事業内容	活動指標	R3	R4	R5		
<p>子どもから高齢の方まで参加可能な美化活動を実施し、普段は自治会未加入で回覧板が回ってこない家庭にも、幅広く参加を呼びかけることで、自治会活動の趣旨に理解を深めてもらう。 また美化活動を通じて、美しいまちづくりへの関心を高めてもらうことを目的とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各校区で美化活動日を設定し、地域の子どもから高齢の方が集い、校区の実情に応じた美化活動を行う。 ・ポスターの掲示や自治会、PTA、子ども会、老人会等の各種団体へのチラシの回覧を通じた広報活動を行う。 ・1校区15,000円を上限として、各校区ごとに活動に必要な清掃道具を支給する。 ・ごみ袋、軍手などの消耗品の支援を行う。 ・美化活動により回収されたごみの収集を担当部署に依頼する。 	<p>①参加人数もしくは実施校区数</p> <p>②報告書を提出いただき実施方法等について検証を行う。</p>	<p>14校区中12校区で実施</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大で、創意工夫して実施しているものの、参加者は減っている。</p>	<p>14校区中14校区で実施</p> <p>新型コロナウイルス感染症の長期化においても、創意工夫しながら、逆に前年度よりも参加者は増えていた。</p>	<p>14校区中14校区で実施</p> <p>各校区において創意工夫しながら、参加者増に努めた。</p>		
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	<p>清掃活動がきっかけで自治会活動に参加し、美しいまちづくりへの関心を高める良い機会となった。</p>	○	<p>行政として清掃活動の広報や清掃用消耗品の用意を行った。計画や地域での声かけ、実施は校区自治連合会が主導で行い、それぞれの役割を分担し、協働して事業を進めることができた。</p>	○	<p>地域で定期的な清掃活動を行っている自治会があることから、単に清掃ということではインパクトに欠ける面もあるが、校区全体一斉清掃に呼びかけることは、新型コロナ禍で停滞していた自治会活動の再開のきっかけともなっている。</p>	○	<p>各校区の状況に応じた、自主的主体的な取組を支援しているため、各校区の区民の理解や協力を得て、多くのマンパワーを得ながら、効率的に事業を実施することができた。</p>
⑤自立発展性		総合評価					
○	<p>校区自治連合会が中心となり、当事業の計画、実施を行い、清掃に必要な消耗品や道具は行政が準備を行うという役割分担のもと実施してきている。</p>	○	<p>世代間交流等によるごみ問題についても意識づけられたと感じた。 また自治会の課題となっている、加入促進のためのツールとして広く参加を呼び掛けることにより、自治会活動のPRにも寄与とともに、顔が見える関係を創出する機会となった。</p>				
今後の方向性(課題、改善提案等)							
<p>拡充 継続 見直し 廃止</p>	<p>校区担当者からは継続していきたい旨の意見・要望等があり、これらを踏まえ、より良い環境でこの事業を継続することが望まれる。</p>						